

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グループ経営理念

生活文化創造企業として、未来の『あたりまえ』を発見し、社会課題の解決に資する存在であり続けること

連結営業利益
3,780百万円ROIC
8.1%親会社株主に帰属する
2,770百万円

② 中長期の経営戦略

1. デジタル活用と人間的価値

デジタル活用による効率化と、人間にしか創り出せないアナログ的価値の提供で利益成長を実現

3. ポーラスマテリアル強化

ハイテク産業向け消耗部材のシェア維持拡大。医療分野を重点的拡大分野として自社開発へ転換

2. ファインケミカル事業拡大

自動車分野の『キレイ』『安全・安心・快適』『修復』の提供。抗菌・抗ウイルス製品や新市場進出も推進

4. サービス事業の多角化

自動車整備・教習事業で在庫確保と新サービス開発。生活用品EC再構築で新顧客層獲得

③ 対処すべき課題

① 生活様式変化への対応

- ・インターネット通販拡大、テレワーク一般化、マイカー保有の恒常的継続に対応
- ・医療・衛生分野への関心高まりに伴う新製品提案機会の創出
- ・自動車保有形態変化やカーケア購買意識の変化に対応

② デジタル化と消費意識の急速な変化

- ・『所有から利用』『時間に対する価値意識』等のユーザー消費意識変化への対応
- ・デジタルトランスフォーメーション進行による市場競争激化への対応
- ・SDGsとサステナビリティへの社会的取組みへの対応

③ 既存事業効率化と新規投資の両立

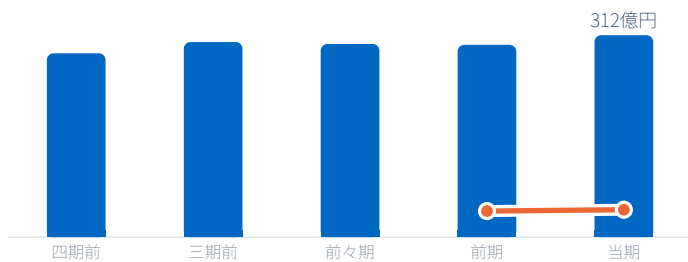
- ・ROIC資本コスト（概ね5.5～6.0%）上回りを継続しつつ新分野投資を展開
- ・人員・システム・設備への積極的投資による販売拡大実現
- ・既存事業運営効率向上と新規事業投資による業容拡大の両面推進

面接で使えるポイント

- ・第7次中期経営計画『Evolve!!』でROIC8.1%達成を目指し…
- ・医療分野を重点的拡大分野と位置づけ、部材提供から医療関連製品自社開発へ転換する姿勢
- ・アフリカ・米国などの新市場進出や現地生産視野に入れた海外展開戦略を推進中

証券コード 4464

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
312億円営業利益率
13.6%財務健康度
78点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 57.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
737万円

化学内 90位/204社

平均年齢
44.0歳

化学内 53位/204社

平均勤続
17.0年

化学内 68位/204社

女性管理職
9.2%

化学内 58位/173社

男性育休
40.0%

化学内 143位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売を主力事業とする化学企業

主力事業・セグメント

- ・Fine化学 44.7%
- ・Porous素材 32.4%
- ・サービス 18.6%

強み・特徴（公開データから）

- ・営業利益率13.6%の安定した収益性
- ・財務健康度78点と財務基盤が健全
- ・平均勤続17.0年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ソフト 9 9 コーポレーション[4464]: 上場維持基準への適合

